

2017 年度懇話会報告

懇話会名 機械の音と振動研究懇話会
代表者名 宇津野秀夫
委員数 54 名
集会回数 3 回
設置年月日 平成 5 年 7 月

I 研究会活動

- 第 65 回懇話会 (2017 年 9 月 8, 9 日) 会場 KKR びわこ 参加者 38 名
特別講演 「建設機械のダイナミクス性能予測とロボット化」
講師 弘前大学 理工学部 機械科学科 教授 今西悦二郎 (元神戸製鋼所)
特別講演では、機構解析と振動解析および制御を包含する時刻歴解析プログラムを活用して、油圧ショベルやロボットなどの動的現象を対象に、30 年にわたる研究を総括した。
一般講演として、参加者全員による研究セッション(技術や研究に関する成果を発表し、質疑応答を行う)、技術討議セッション(面白い論文や特許の紹介、実験設備の紹介、業界での最近の技術動向・研究動向など幅広い内容を想定する)、自己紹介セッション(発表しない 40 歳以下の参加者用のセッション)を実施した。
- 第 66 回懇話会 (2017 年 10 月 21 日) 会場 神戸大学 参加者 42 名
第 18 回秋季技術交流フォーラムの一環として開催。振動談話会と共催。
テーマ「非線形振動・自励振動の最近の研究紹介」
講演「モード連成による自励振動の発生」/栗田 裕 (阪産大)
基調講演「新型複素モード解析による自励振動の発生メカニズムの解明と防止対策」
/近藤孝広 (九州大)
基調講演「ロータダイナミクス分野における非線形振動の解析と非線形現象を援用した制振」
/井上剛志 (名古屋大)
講演「蒸気タービンのスチームホワールの研究」/神吉 博 (神戸大名誉教授)
- 第 67 回懇話会 (2018 年 3 月 1 日) 会場 関西大学
講演題目 「理学の世界から振動工学への挑戦—ゼロから最先端へ—」
講演者 大阪産業大学 工学部 機械工学科 教授 中村友道先生 (元三菱重工 高砂研究所)
講演概要 講演では、三菱内で自発的に実施してきた OJT の方法を成功例や失敗例を挙げながら、実例を紹介します。与えられた研究対象は耐震問題と流体関連振動の両輪でしたので、前者では主として当時としては画期的だったモード合成法による熱交換器管群の耐震解析法の開発にまつわる話題、後者では気液二相流による管群の流力弾性振動の独自の視点での評価方法の提案を中心に説明します。また最後に、大学での研究とその結果が今後の基準改定に繋がって来るであろう現在の状況について説明します。

II その他の活動

騒音に関する講習会の講師派遣、第 93 期定時総会講演会の企画を支援した。

以上